

Kurume University Medical Center 久留米大学医療センター

news

2010.10
No.016



2010年8月5日(木) 褥瘡対策委員会主催 研修会
医療センターではこのような研修会を定期的に行っております。

私たちの理念

心が通い、信頼される医療

私たちのめざす医療

1. 皆さまの権利とプライバシーを尊重します。
2. 充分な説明と同意のもとに、最新で安全な医療を行います。
3. 地域に開かれた病院として、健康と福祉の向上に努めます。
4. 確かな医療技術と豊かな人間性を備えた医療人を育てます。

Contents

- 第5回 市民健康フォーラムについて
- 生体内分解性ステントの開発について
- 第1回 医療センター緩和ケア研修会について
- ボランティア活動について
- 新任医師紹介
- Kurume University Children's Art

〈久留米大学医療センターホームページ〉

<http://iryo.kurume-u.ac.jp/>

第5回 市民健康フォーラムについて

平成22年9月23日（木・祝日）に医療センター附属棟大ホールにおきまして、第5回市民健康フォーラムを開催いたしました。

毎年、『明日の健康を語る』と題し、さまざまな診療科の先生に講演をいただいております。

今年は、久留米大学健康・スポーツ科学センター吉田典子教授、医療センター整形外科・関節外科センター大川孝浩准教授、久留米大学リハビリテーションセンター志波直人教授の3名に講演をいただきました。

まず、吉田典子教授に『運動で若返りましょう』と題し、どのくらいの運動をしたらよいのか、量や時間そして運動をする際の注意点など非常にわかりやすくご講演いただきました。

次に大川孝浩准教授に『関節って何？その痛みと治療』と題し、関節の働きやその重要性、関節が痛くなった場合の治療方法や手術、その後のリハビリなどについてご講演いただきました。

最後に志波直人教授より『骨と筋肉の衰えについて—寝たきりと宇宙飛行の共通点—』と題し、寝たきりと無重力の宇宙飛行は、負荷がかからず骨や筋力が衰えてしまうという共通点があり、筋の電気刺激によりそれを予防、改善しようという研究を行っているとのご講演をいただきました。

短い時間ではありましたは、今年もたくさんの皆様にご来場いただきまして、誠にありがとうございました。また、後援いただきました、久留米市、久留米医師会、久留米学術研究都市づくり推進協議会の皆様にもこの場を借りて御礼申し上げます。

これからも医療センターのめざす医療でもある『地域に開かれた病院として、健康と福祉の向上に努めます』の通り、地域に根ざした病院として皆様の健康と福祉の向上を第一に考え、来年も市民健康フォーラムを開催いたしますので、その際には是非足を運んでいただきますようお願ひいたします。



吉田 典子 教授



大川 孝浩 准教授



志波 直人 教授

患者駐車場料金の一部改正について

平成22年9月1日（水）より外来駐車場の料金を一部改正いたします。改正後の金額については、下記の通りです。大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力の程よろしくお願ひいたします。

- ①入庫から**1時間**以内に出庫した場合・・・無料
- ②入庫から**1時間**を超える場合・・・200円
- ③入庫から**4時間**を超える場合・・・1時間毎100円加算（最大1,000円）
- ④入庫から**24時間**を超えた場合・・・1時間毎100円加算（最大1,000円）



※診察・付添・お見舞いで4時間を超えた場合、駐車券を総合受付または警備員室へご提示ください。1日200円に変更いたします。

※障害者医療証・身体障害者手帳1級または2級を所持されている方は無料となりますので総合受付または警備員室へお申し出ください。

生体内分解性ステントの開発について

臨床検査室 金原 正昭

久留米大学医療センターの研究グループと心臓血管内科甲斐久史准教授らは、久留米高専、地場企業との医工連携、产学連携研究として血管の再閉塞と炎症を防ぐ新型のステントを2年前から開発開始しました。

本研究の研究背景は従来型ステントの欠点である

- (1) 遅発性ステント内血栓形成の可能性があり、長期間に及ぶ抗血小板療法の必要があること。
- (2) 冠動脈の収縮、拡張といった生理的反応を抑制すること。
- (3) 将来冠動脈バイパス術を行う必要が生じたとき、ステント部位が切開、縫合できないこと。

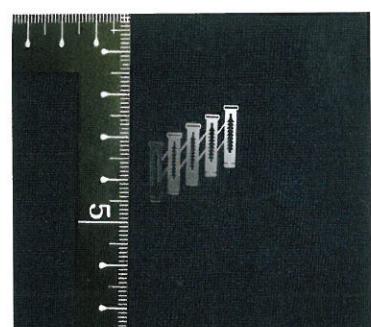
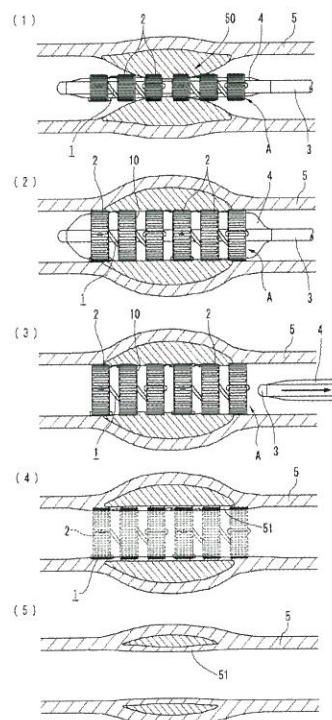
以上の問題点を解決することを目的としています。

生分解性ステントは経皮的冠動脈インターベンションの直後には血管壁を支え急性冠動脈閉塞を予防し、慢性期にはステント自体が消失することを特徴とします。しかし生分解性ステントの一つである従来型ポリマーステントは管腔の開存を維持するためのラジアルフォースが低く、又もう一つの素材である難燃性マグネシウムは強度と曲げ柔軟性を確保することが困難でした。

本ステントは管腔の開存を維持するためのラジアルフォースを高めると同時に、強度と曲げ柔軟性を確保する二律背反の問題点を、生分解ポリマーと難燃性マグネシウム合金のコンポジット構造とすることで解決しました。図はステント挿入から生分解終了までの様子を表したものです。

特徴は

- 1) 拡張する方向だけに働くロック機構により、管腔開存を維持するに十分なラジアルフォースを得られる。
 - 2) ステント本体を外側からマグネシウム合金でカテーテルに固定することにより、ステントの脱落防止に働く。
 - 3) ステントが受動的に可動するので、脈管内を通過して標的病変部へ到達しやすい。
 - 4) マグネシウム合金等からなる金属と、生分解性ポリマーとを組み合わせて用いることで、分解時に中和的に働くように相互作用させ、ステント留置近傍を中性に近づけることができ、PHの変化による組織への炎症等の影響を減殺する。
- ことなどです。写真は冠動脈治療が可能な生体内分解性ポリマーステントの実物です。



本ステントは血管病変部の治療だけではなく、ドラッグ デリバリー システムとして癌などの治療にも応用可能です。研究はプロトタイプが完成したところまで進んでいます。今後はグラントを獲得し、ステントベンチャー企業と物性実験を進める計画です。

第1回 医療センター緩和ケア研修会について

- ・開催日時：平成22年8月1日（日）8:30～18:30
8日（日）8:30～17:20
- ・開催場所：久留米大学医療センター附属棟2階大ホール
- ・プログラム：別紙参照
- ・主催責任者：伊藤雄平（久留米大学医療センター院長）
- ・企画責任者：福重哲志（久留米大学病院緩和ケアセンター長）
佐野智美（久留米大学病院緩和ケアチーム専従）
- ・研修会修了者：医師24名（院内参加 3名）
- ・研修会協力者：15名（院内参加 医療連携推進室1名、薬剤部2名）
- ・研修会協力スタッフ：28名（看護部2名、4東5名、4西6名、外来5名、リハビリ入院棟2名
リハビリテーション3名、薬剤部1名、医療連携推進室2名、他）
- ・セミナー総合評価（研修会参加者への終了時アンケート：別紙参照）

久留米大学医療センター緩和ケア研修会は、福岡県下では初めて「がん診療連携拠点病院（15施設）」「県指定がん診療拠点病院（3施設）」以外の施設が単独主催した、「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針（平成20年4月1日付健発第0401016号厚生労働省健康局長通知）」にのっとった研修会です。

昨年12月に久留米大学医療センター（以下、医療センターと略）での緩和ケア研修会開催を伊藤雄平病院長、渡邊和子看護部長にご相談したのが事の発端でした。今年2月までの2か月間、お忙しいお二人に奔走・ご尽力いただき正式に開催が決定、今年5月からは猿渡祐子副看護部長が実働部隊の隊長として、岸川弘子事務部管理課課長補佐が事務責任者として参画され、膨大な準備を滞りなく行っていただき、無事、開催初日を迎えることができました。昼食時に「Mini Lecture」と称して恵紙英昭准教授の「漢方」、由谷 茂講師の「免疫療法」講義があり、医療センターの独自性をお伝えできたのではないかと自負いたしております。

2日間・14時間32分の長丁場を沢山の方々の「おもてなしの心」で支えていただいたからこそ、研修会修了者の方から「ありがとうございました」の笑顔とアンケートの高評価（5点満点で、ファシリテーター・スタッフの仕事ぶりは？ 4.5点 / 他の医師にもこの研修会参加を勧めたい 4.8点）をいただくことができました。

最後に、「2日間の休日を返上・全くのボランティア活動」という条件の中でご協力いただいた、伊藤院長、渡邊看護部長、猿渡副看護部長、由谷講師をはじめ医療センターの方々、福重教授、恵紙准教授、塗木京子看護師、富田康裕薬剤師をはじめ久留米大学病院緩和ケアチームとその関係者の方々に、深謝いたします。

（文責 佐野智美）



ボランティア活動について

久留米大学医療センターでは病でつらい患者さんの気持ちが少しでも安らげるよう皆様のご好意のもと、絵画などを掲示しております。

今回は、7月20日～30日まで高良内保育園、8月2日～13日までこくぶ幼稚園のご協力のもと、園児さんの絵を掲示いたしました。

高良内保育園の園児さんは「なみのり」の絵、こくぶ幼稚園の園児さんは元気いっぱいに遊んでいる絵で、どちらも夏にふさわしい作品でした。

今後もこのような取り組みを続けていきたいと考えていますので、ご協力していただける方、幼稚園等がありましたら下記までご連絡下さい。

また、患者さんの案内などのボランティア活動をしていただける方の募集も継続して行っております。皆様のあたたかい笑顔をお待ちしています。



詳しくは下記までお問い合わせください。
医療センター管理課 0942-22-6111（代表）

新任医師の紹介

新任医師が着任しておりますのでご紹介いたします。



氏名：竹尾 正彰（タケオマサアキ）
診療科：リウマチ・膠原病センター
職位：助教
着任日：平成22年7月1日付



氏名：辻 見矢子（ツジ ミヤコ）
診療科：放射線科
職位：助教
着任日：平成22年9月1日付

Kurume University Children's Artについて

前号に掲載いたしました、第1回 Kurume University Children's Art で院内展示しました久留米大学病院で治療を受けている子供たちが描いた絵画を久留米大学オリジナルグッズ（クリアファイル・絵葉書・サンキューカード・メモ帳）として商品化しました。

久留米大学病院、医療センターの売店で販売しております。購入すると、Children's Art の寄付になる仕組みになっております。



外来診療一覧

平成22年9月10日現在

診療科名	月	火	水	木	金
一般内科	堀まいさ	熊埜御堂 淳	赤坂朋紀	松岡昌信 (リウマチ膠原病センター)	倉岡圭
呼吸器科(午前) (午後)		松岡昌信			松本久美
消化器科	堀まいさ 原田和徳	田中正俊	由谷茂 原田和徳	田中正俊 堀まいさ 下瀬茂男	倉岡圭 大野美紀
循環器科	池田久雄 原田晴仁 熊埜御堂 淳	池田久雄 加藤宏司 森田博彦	池田久雄 加藤宏司 赤坂朋紀	熊埜御堂 淳 加藤宏司 森田博彦	原田晴仁 森田博彦 赤坂朋紀
精神科	近間浩史	近間浩史		近間浩史	近間浩史
小児科	伊藤雄平 吉本悠乃	牛島高介 吉本悠乃	伊藤雄平 吉本悠乃	牛島高介 吉本悠乃	伊藤雄平 牛島高介 吉本悠乃
(専門外来)	腎臓	腎臓 内分泌	腎臓	アトピー 消化器・肝臓	腎臓 小児成人病
外科	村上直孝 緒方裕	笹富輝男 内田信治 肝胆脾	竹内正昭 山口圭三	大地貴史 緒方裕	村上直孝 内田信治 肝胆脾
(乳腺外来)			矢原敏郎		矢原敏郎
(病理外来)		山口倫			
整形外科 関節外科センター (午前)	樋口富士男 石橋裕美子	大川孝浩 久米慎一郎 光井康博	樋口富士男 後藤昌史 光井康博	大川孝浩 久米慎一郎	樋口富士男 石橋由美子
(午後予約紹介のみ)	(午後) 鈴木康一 (第2、4)	(午後) 後藤昌史 (14:00~16:00で専門外来のみ)		(午後) 大川孝浩 (第1、3の午後の予約制) 後藤昌史 (14:00~16:00で専門外来のみ) 久米慎一郎 (第1、3、4、5) 稗田寛 (第2)	
リウマチ・ 膠原病センター	福田孝昭 松岡昌信	福田孝昭 矢野真弓	竹尾正彰 鮎川竜祐	福田孝昭 矢野真弓 松岡昌信 (一般内科)	福田孝昭 竹尾正彰
リハビリテーション科	松瀬博夫	名護健 志波直人 (午後のみで、予約制)	松瀬博夫 (第2、4) 馬場敦子 (第1、3、5)	馬場敦子	名護健
泌尿器科	江口善朗	江口善朗	名切信	名切信	江口善朗
産婦人科	園田重則	園田重則	園田重則	園田重則	園田重則
眼科	渡邊志穂	渡邊志穂	渡邊志穂 斜弱外來 午前・午後	渡邊志穂 斜弱外來 午後のみ	
児童科	児玉良太郎	児玉良太郎	児玉良太郎	児玉良太郎	
耳鼻咽喉科	池園圭子	池園圭子			
放射線科	小島和行 (画像診断)	由谷茂	笠田哲朗	由谷茂	伊東恭悟 由谷茂 (肝炎ワクチン)
がんワクチン					
先進漢方治療 (午前のみ)	恵紙英昭	恵紙英昭 藤本剛史	恵紙英昭	八木実	佐野智美
麻酔科 (術前診察のみ)			大石羊子		大石羊子

受付時間：午前8時30分～午前11時迄 診療日：月～金 休診日：土・日・祭日・年末・年始(12/29～1/3)・盆休(8/15)

編集後記

記録詰めだった猛暑も突然おわり、朝夕はめっきり涼しくなりました。こんなに突然に季節が変わるのは今までの人生であまり経験がありません。思い起こせば猛暑も梅雨が明けるや否や突然やってきました。日本の良き風情だった季節の移り変わりを楽しむ余裕さえ今年はありませんでした。急な温度差は体調を崩す原因となりますので注意しましょう。

ところで、この編集後記を書いているのは我らがホークスが7年ぶりに優勝を決めた翌日です。久々の美酒に酔いしましたが、もうすぐ今年のプロ野球も終わりと思うと一抹の寂しさを感じてしまう季節です(K.K.)。